

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
生きる力を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	43.2%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
○学校・家庭における助け合う心の人間形成の推進。 ○相手の立場と人格の尊重を目指した集会(ヒューマンビレッジ)の実施。 ○「校長だより」「学級だより」の発刊。 ○家庭・地域との懇談会の充実。 ○進路について家庭での話し合いがスムーズに行えるように指導。								
平成20年度実績								
○小学校75%、中学校58%。 ○車椅子体験を全校・親子で行い、助け合うことの大切さを実感することが出来た。 ○PTAの部会が中心となって、人権意識の高揚を目指した集会を行っている。 ○「学級だより」を話のタネとして親子の会話が活発になっている。								決算額
								—
								実績値
								77%
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
○父親の参加の呼びかけ。 ○ヒューマンビレッジを継続して実施しているが一定の保護者の参加によりマンネリ化してきている。 ○いろいろな立場の人のことを理解し助け合うことの大切さを実感するようになった。 ○学校教育や地域との交流の中で男女共同参画に関する話題を提供し学習を推進した。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3
平成21年度予定								
○校区別人権・同和教育懇談会 ○ヒューマンビレッジの実施 ○高等学校・職場説明会を開催								予算額
								—
								目標値
								100%

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
家庭教育推進事業(地区公民館)	生涯学習課	22館	30館	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
家庭教育力の向上をめざして、保護者会などの機会を活用し、思春期の子どもを持つ親を対象に、公民館で家庭教育に関する講座を実施するもの。								
平成20年度実績								
【家庭教育講座】 実施公民館数 : 22館 講座実施回数 : 64回 延べ時間数 : 111.6時間 参加者数 : 1,661人(うち男性:523人 女性:1,138人)							決算額	
							255千円	
							実績値	
							22館	
							進捗状況	
								2
事業に対する評価・課題等								
実施公民館数が平成19年度現状値から増加していないので、来年度は目標値にできるだけ近づけるよう努力したい。 講座の内容として、子育て、食育などが中心となっているため、参加者はどうしても女性(母親)中心となり、男性(父親)の参加者は少ない。 職を持つ親が参加しやすいように夜間(18:00以降)の開講も積極的に進めていきたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成21年度予定								
【家庭教育講座】 実施公民館数 : 26館 講座実施回数 : 68回 延べ時間数 : 125時間							予算額	
							331千円	
							目標値	
							26館	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規
校区别人権・同和教育懇談会	人権啓発課	2回	5回	①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
人権尊重の意識を高めるとともに人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるために、毎年1回講師を招いての講演会等を開催するものである。								
平成20年度実績								
○会 場 宇和島市立住吉小学校 平成20年6月29日(日) 参加者:250名 「男女(ひとりひとり)が輝く男女共同参画社会とは」 講師 解放社会学研究所 所長 江嶋 修 氏								決算額
								110千円
○会 場 宇和島市立高光小学校 平成20年10月16日(日) 参加者:48名 「共に生きる幸せを求めて」 講師 宇和島市人権教育協議会吉田分会副会長 浅田 淳 氏								実績値
								3回
○会 場 宇和島市立喜佐方小学校 平成20年10月16日(日) 参加者:40名 「共に生きる幸せを求めて」 講師 宇和島市人権教育協議会吉田分会副会長 浅田 淳 氏								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
地域の方にも感想用紙を持ち帰ってもらえるような形にしてみたが、どの程度取っていただけたか分からない。また、回収の面でも難しい面がある。地域の方の声を取り上げる手段について、今後、考えたい。 講演会の参加者が予想しているより少なかった。公民館等の連携を図りながらより多くの人数を集める工夫をしていきたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成21年度予定								
人権尊重の意識を高め、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるために、人権問題講演会等を2回程度開催する。 今年度の反省を踏まえて、より多くの人に参加していただくためPTAや公民館、地域との連携を図りながら保護者以外の人も参加していただける体制を検討していく。								予算額
								30千円
								目標値
								2回

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	福祉課 [子育て支援]	87.5%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させる。また、児童一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことによりいじめや不登校の未然防止に努める。								
平成20年度実績								
通常保育の一部として行い、全ての保育所で実施している。							決算額	
							—	
							実績値	
							100%	
							進捗状況	
							3	
事業に対する評価・課題等								
特になし								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成21年度予定								
前年と同様							予算額	
							—	
							目標値	
							100%	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	教育総務課	87.5%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
幼稚園において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させる。また、園児一人一人の特性に応じた指導を行うことにより、いじめなどの未然防止に努める。								
平成20年度実績								
○幼児一人一人の発達の特性を理解し、よりよい成長が図れるよう見守ったり援助したりするとともに、相手の思いに気付き思いやりの気持ちを育てる取り組みを行った。 ○男女別の能力による評価を行わず、一人一人の発達を考慮して保育を実践した。 ○園児には、一人一人の「よかった探し」をし、自分も周りの人も大切にできるよう努めた。 ○生命の大切さ、生きる力の育成など幼稚園教育活動全体の中で幼児の発達段階に応じ指導した。 ○男女混合名簿を使用する取り組みを行った。 ○家族参観などで子育てに関心をもってもらうとともに、人権同和教育に視点を置いた研修会を実施した。								決算額
								—
								実績値
								100%
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○幼児の発達の実情に即応した教育を行うことができた。更に、幼児同士が互いに自分の思いを主張し合い、決まりの必要性や自己抑制ができるよう援助する。 ○少人数集団であるため、固定化された価値観による影響が心配である。 ○園からの、「人権に関する」おたよりなどにも、関心をもってもらえた。 ○年齢が低いので、日々の園生活の中で家庭との連携を図りながら、幼児に知らせていくことが大切である。 ○職員の意識改革が大切ではないか。 ○父親の研修会への参加。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成21年度予定								
○一人一人の幼児理解と、個々に合った指導の在りかたの充実。 ○男女の特性やよさを生かしながら、家庭との連携を強める。 ○公民館活動と合同での講演会を開催をする。 ○幼児の発達段階に応じて、男女平等の教育の充実に努める。 ○男女混合名簿の導入。 ○人権・同和学習会の実施。 ○家族参観日の実施。								予算額
								—
								目標値
								100%

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
豊かな心を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	81.8%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
○席順など男女の区別なくし互いに話しやすいように構成。 ○男女の協力等について指導。 ○家庭との連携を懇談会や学級通信・参観日等で活用している。 ○豊かな人間性を育てる道德教育の充実。 ○一人一人の個性を生かす生徒指導の徹底。 ○いじめ問題・不登校の根絶に向けた指導の徹底。								
平成20年度実績								
○小学校95%、中学校85%。 ○「いじめゼロ宣言」のもといじめや不登校生徒のない全校生徒の欠席ゼロの日の充実。 ○「母への感謝」「父への感謝」の作文を書くことにより両親への感謝の考えを深める機会ができた。 ○人権の尊重の授業を各学年の発達段階に応じて実施している。 ○いじめや男女平等などを題材とした人権集会を実施。 ○分団会や学級連絡網などで男女混合名簿を作成。								決算額
								—
								実績値
								95%
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○豊かな心を育むために人権の尊重を格とした授業や集会を行ったが取り組み方に反省すべきところがありそれを生かし充実させたい。 ○いじめや不登校の未然防止については個々の児童をよく見つめて早期対応を図りたい。 ○地域住民に温かく見守っていただいております。 ○年間指導計画を新学習指導要領の実施及び社会の変化に応じて新たに作成し直す必要がある。 ○授業の公開により保護者の参加に大きな効果が生じた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成21年度予定								
○豊かな人間性を育てる道德教育の充実 ○一人一人を生かす生徒指導の徹底 ○人権啓発に関わる参観日の実施 ○「人間としてのありかた」についての講演								予算額
								—
								目標値
								100%

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
教職員人権・同和教育研修会(講演会)	人権啓発課							
事業の概要								
様々な人権問題解決への確固たる姿勢を確立するとともに、男女平等の意識も含めた人権意識を高め、一人ひとりの教職員の資質向上を図るため年1回研修会を開催する。								
平成20年度実績								
演題：「こんな時子どもはステキに育つ」— 育てよう「自尊感情」 — 講師：大阪教育大学 教授 園田 雅春 氏 日時：平成20年8月11日(月) 会場：宇和島市立岩松公民館 2階大ホール 参加者：541名								決算額
								—
								実績値
								1回
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
自分もまわりもかけがえのない存在であることを実感できる学級・学校の環境づくりを進め、いじめや不登校等の解決に取り組む上で非常に参考になった。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3
平成21年度予定								
来年度は、児童虐待防止についての理解と認識を深めるため、「CAP(子ども虐待防止プログラム)うわじま」の日本初のトレーナーであり、日本を代表する児童防止虐待の専門家である森田ゆりさんを招聘し、宇和島市の全教職員に対して、平成21年8月4日(火)に宇和島市役所2階大ホールで講演会を開催する。								予算額
								—
								目標値
								2回

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規	
特別支援教育推進事業	教育総務課						
事業の概要							
子どもたちが将来の進路や仕事、家庭生活等について、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう、指導の充実を図る。また、一人一人のニーズに合った特別支援教育の充実を図る。							
平成20年度実績							
○保護者学習会・クラス懇談会・園だより・クラスだより等を通して、幼児の育ちや行事、家庭における保護者の思いを発信し、子育ての大切さや大変さ、楽しさなどを伝えた。 ○園生活の中では、幼児にできる仕事は自分たちで進んでさせるように環境を整え、家庭では手伝いができるように指導した。 ○女の子だから、男の子だから、こうしないといけないなどと決め付けないように注意した。 ○幼稚園教育の中で、固定的な男女の役割意識を幼児に植え付けないように取り組んだ。 ○遊びの中で男女の区別なく多様な活動を行った。 ○一人一人の個性や自主性を尊重し、様々な体験を通して、自分に自信を持ち、自分を大切にできる子どもを育てるように取り組んだ。							決算額
							—
							実績値
							100%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
○幼児の発達の過程や社会の変化に対応し、自分で考え、自分で行動することができる生きる力の基礎を身に付けることができるように努める。 ○保護者アンケート等を活用し、課題や問題点を探る。 ○性差を感じることなく、仕事や手伝いに取り組むことができている。 ○園児の中からも、「女の子のくせに・・・」などの言葉が聞かれることもあり、周りの大人の意識を変えることが必要だと思う。 ○日々の園生活の中で色々な経験をする中で男女、弱い立場にある幼児への偏見をうえつけないように気をつけたい。 ○いろいろな体験を通して子どもの成長が見られ、友達関係にも広がりが見られる。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成21年度予定							
○家庭教育学習会の内容の選択と充実。 ○幼児に多様な経験をさせるために、かわり方を工夫する。 ○幼児期から、男女の役割を決め付けないようにし、男女が協力して行うことの必要性を考えさせる。 ○固定的な男女の役割意識を幼児に植え付けないように取り組むとともに、見直しを図っていく。 ○遊びの中で男女の区別なく多様な活動を行う。 ○園内研修の実施。 ○各研修会への参加。							予算額
							—
							目標値
							100%

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
特別支援教育推進事業	学校教育課			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
○男女共学のもと各教科において男女相互の良さを理解し認め合い切磋琢磨することにより練り合い高め合う学習をしている。 ○男女の協力等の指導。 ○一人一人を生かす指導。								
平成20年度実績								
○小学校95%、中学校85%。 ○男女が意識せずに自然に協力できる体制が整うことで同性異性に係らず仲間づくりができています。 ○個々を生かした学級集団づくり。							決算額	
							—	
							実績値	
							95%	
							進捗状況	
							5	
事業に対する評価・課題等								
○人権の尊重を格とした授業や集会活動により協力することの意義が分かりあえた。 ○男女それぞれの立場からの意見が出されお互いを認めあうことができた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成21年度予定								
○男女相互を高め合う学習。 ○男女の協力等の指導。 ○個々を生かす指導。							予算額	
							—	
							目標値	
							100%	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
進路指導推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	47.7%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
職場体験学習を行い個人の適正を確認したり進路について家族と話し合う機会を作り具体的な指導を行った。								
平成20年度実績								
○中学校100%。 ○職場や仕事に関する現実的・具体的な知識や理解を得ることが出来た。 ○県立・私立高校の説明会を開催。								決算額
								—
								実績値
								100%
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○体験活動では熱心に行動し職業に関する知識を深めた。 ○体験する職業が限定されたためより多くの体験活動が出来るようにしたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成21年度予定								
○体験活動の場を校外にも求め生徒の選択の幅を広げる。								予算額
								—
								目標値
								100%

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[3] 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
幼稚園運営における男女共同参画の推進(実施している施設の割合)	教育総務課	87.5%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
幼稚園運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、これがPTA活動などにも浸透するよう努める。								
平成20年度実績								
○職員会や園内研修で共通意識を持ち、常に自分の役割を果たすように、協力して仕事に取り組んだ。 ○PTA活動に積極的に取り組み、活動が浸透するよう努めた。 ○共に働きやすい職場の環境作りに努めた。 ○園行事に父親参加を呼びかけ、子育てへの関心をもってもらうように努めた。								決算額
								—
								実績値
								87.5%
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
○PTA活動の中で、男女参画にかかわる家庭教育に関する学習の機会を提供する。 ○PTA活動の協力を得て、園運営が行われた。 ○女性中心の職場なので取り組みがかたよらないように周りにも目を向けながら気をつけていきたい。 ○研修会等に参加することにより、正しい知識を身につけるようにしていきたい。 ○父親が参加しやすいように、日曜日に実施する。 ○父親の参加者は多いが、子育てに対する理解には至らないようである。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成21年度予定								
○幼児への適切な指導のための研修会の充実。 ○園内研修、PTA活動の充実。 ○職員の能力の幅を広げて、円滑な園運営に努める。 ○幼児期から男女の役割を決め付けないようにし、男女が協力して行うことの必要性を考えさせる。 ○男女共同参画の視点に立った講演会等に参加し、研修を行う。 ○父親の保育参加の推進を図る。 ○園行事を中心にしたPTA活動。								予算額
								—
								目標値
								100%

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[3] 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
開かれた学校づくり推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	20.5%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
○学校運営上必要な組織づくりについては男女の区別は無く各人の能力・個性を重視して組織する。 ○校務分掌の分担について全員で職員会を開催。 ○男女の特性や個々の特性を第一に考えることの推進。								
平成20年度実績								
○小学校87%、中学校86%。 ○個性・能力に応じた組織づくりをしたことで学校運営・PTA活動がスムーズに行うことが出来た。							決算額	
							—	
							実績値	
							87%	
							進捗状況	
							5	
事業に対する評価・課題等								
男女それぞれの立場から意見を出し合うことができた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—	
平成21年度予定								
○各行事で男女の区別なく役割分担をし能率的に運営できるようにしていく。 ○校務分掌分担について全員で職員会を開催。							予算額	
							—	
							目標値	
							100%	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[4] 教育関係者への研修の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
教職員の資質・能力の向上推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	15.9%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
○一人一人の人権の尊重。 ○教職員の研修の推進。 ○研究授業の奨励。								
平成20年度実績								
○小学校73%、中学校86%。 ○研究授業の実施。 ○校内研究推進組織の充実。							決算額	
							—	
							実績値	
							75%	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
教職員間で研究授業の実施による課題等検討会を開き、より優れた研究事業にするための研修が必要。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3	
平成21年度予定								
○一人一人の人権の尊重。 ○研究授業の奨励。 ○教職員の研修の推進。							予算額	
							—	
							目標値	
							100%	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[1] 地域や事業所における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H19)	目標値(H24)						
男女共同参画出前講座	企画情報課 [総務]	-	5回	①充実		②継続		③新規	●
事業の概要									
市民が男女共同参画を理解し、職場、学校、地域、家庭その他の社会のあらゆる分野において男女共同参画社会の形成が促進されることを目的として、各種団体等が主催する集会や研修等につき、講師派遣及び謝礼金支給などの支援を行うもの。									
平成20年度実績									
実績なし								決算額	
								—	
								実績値	
								—	
								進捗状況	
								1	
事業に対する評価・課題等									
広報で募集したものの申込や問合せがない状況で、制度が有効に活用されていない。内容や利用方法について具体的に把握しづらいのも一因と考えられるが、詳細な周知を図るには広報紙面だけでは限界があるため、他の手法の検討も必要である。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成21年度予定									
前年度同様広報に掲載して事業の周知を図り、団体等が実施する研修会等の支援を行う。								予算額	
								118千円	
								目標値	
								2回	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[1] 地域や事業所における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
自治会別人権・同和問題学習会	人権啓発課	10回	15回	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
昨今、マスコミ等では日々悲惨な事件や事故等が報じられている。学校では、いじめ・不登校、家庭では、幼児虐待・引きこもり・ニート・DV、職場では、リストラ・セクハラ・パワハラ等の言葉が頻繁に聞こえるようになってきた。地域のコミュニティも疎遠になりつつある。 このような状況の中で、心通い合う明るい町をつくることは皆の願いである。その願いを実現するために、人権・同和問題学習会を通じて、地域の住民と一緒に毎日の暮らしを見つめ直しながら色々な問題について意見交換をすることを目的とするものである。								
平成20年度実績								
○わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会 会場：自治会集会所 32箇所 期間：平成20年10月21日～平成21年2月25日 延べ参加者数：449人 内容：人権クイズ・朗読劇他 講師：公民館主事・教職員・その他 ○であい・ふれあい・みんなの人権講座：人権学習会 テーマ：一人ひとりの人権が大切にされる「温かいふるさとづくり」をめざして 会場：各自治会集会所又は公民館(15箇所) 日時：平成20年10月1日(水)～10日(金) いずれも19:30～21:00 参加者：15自治会の地域住民(男:71名、女:40名、計:111名) 講師：三間町人権教育推進委員(37名:8班編成)							決算額	
							1,072千円	
							実績値	
							47回	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
○わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会 参加者が年々減少しているため内容や周知等の検討が必要。あらゆる差別の解消をめざす学習会なので、進め方次第で男女共同参画について深く学習できるときとそうでない場合がある。 ○であい・ふれあい・みんなの人権講座：人権学習会 今後の課題は、自治会長や公民館長、民生児童委員等と連携をとり、より多くの住民に参加してもらえるよう工夫が必要である。また、学習会の内容についてもマンネリ化しないよう検討が必要である。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成21年度予定								
○わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会 学習内容の更新時期になっているので女性問題に配慮した内容の検討を行い、旧町内自治会の半数である43自治会において33講座の実施をしたい。 ○であい・ふれあい・みんなの人権講座：人権学習会 これまで行ってきた自治会別人権・同和问题学習会(小集団学習)とは趣向を変え、「人権に関する市民の意識調査報告書」を基に、市民の意識や現代の多種多様な差別を考慮した学習会を検討していきたい。 また、「考える」という姿勢から、講師と地域住民が「共に学ぶ」という交流型の学習会を目指したい。そのためには、より多くの住民に参加してもらえるよう、自治会長や公民館長、民生児童委員等と連携をとり、協力態勢を密にすることが必要である。							予算額	
							1,267千円	
							目標値	
							48回	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[2] 多様な学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規		
生涯学習センターにおける男女共同参画セミナー	生涯学習課	-	1講座/年	●				
事業の概要								
講演会や研修会等あらゆる機会を通じて男女共同参画の理念や内容についての啓発を行うために、第16回生涯学習うわじまフェスティバルの一環として、キャリア教育研修会を開催するもの。								
平成20年度実績								
第16回生涯学習うわじまフェスティバル キャリア教育研修会 演題： 知りたいを形にする「中学生・高校生の視点から企画・取材・編集する職業ガイドブックづくり事業」 講師： 濱 砂 圭 子 氏 福岡県男女共同参画審議会会長・株式会社フラウ代表取締役社長 NPO法人男女子育て環境改善研究所理事長・NPO法人NPOふくおか理事長 会場： 宇和島市生涯学習センター 大ホール 日時： 平成21年3月23日(月) 16:00～18:00 参加者50名								決算額
								100千円
								実績値
								1講座
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
生涯学習また教育現場の中で、「キャリア教育」への関心の高まりと、多様化する就職事情や進路選択をめぐる環境に、若年層が主体的に取り組めるようになる施策の研修が目的であった。講師の女性として、母親としての立場からの社会参画について、青少年に対し指導的な参加者に、新たな展開をしている事例報告を行った。参加者から、「実際に教育現場でも、生かしてみたい。」、「悩みが開放され、視野が広がった。」「女性の能力の再生産が大切に思った。」等のアンケート結果が出て、大変有意義な研修であった。また、今後は、それらを踏まえて、いかに青少年が社会に参画すべきかの施策について、地域社会が一体となって取り組む必要がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3
平成21年度予定								
生涯学習の視点から、青少年人材育成といった「キャリア教育」に関して、若年層の「働くこと」「職業の意義を把握できること」「自身の将来を設計すること」等を意識付けることを目的に、市内高校生を対象に実施する事業の報告会の中で、生徒・教諭・社会人を参集しての「男女共同参画社会」についての研修会を実施したい。								予算額
								100千円
								目標値
								4

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[2] 多様な学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
市民啓発事業(差別をなくする市民のつどい)	人権啓発課	来場者数 500人	4,0005000人	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、あらゆる差別と偏見のない明るく住みよい町を実現するために、毎年人権の集いを開催するものである。								
平成20年度実績								
○事業名：「人権を考える市民の集い・菜の花コンサート」 スローガン：「市民と手を携えて～みとめあい、ささえあおうよ～」 会場：コスモスホール三間 期日：平成20年12月7日(日) 参加者：22名 内容：和霊小学校太鼓集団「ドラゴンハートス」演奏 津島中学校吹奏楽部&合唱団による人権ソング 三間中学校生徒による青春メッセージと歌 梅原司平さんの「菜の花コンサート」 ○事業名：「人権をまもる市民の集い」 テーマ：「一人一人が大切にされる人権のまちづくりをめざして」 会場：吉田公民館大ホール 期日：平成21年2月19日(木) 参加者：500人 内容：手話コーラス(連合婦人会吉田支部) 創作ダンス(吉田高等学校ダンス部) 人権啓発劇(遠見子ども会) バザー(青空ドリーム) 講演：講師 北田康広 世界でたった一人の私(人権コンサート) ※平成24年度目標値を再設定。								決算額
								740千円
								実績値
								522人
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
○事業名：「人権を考える市民の集い・菜の花コンサート」 今年度は、「菜の花コンサート」と銘打ってコスモスホール三間での開催となった。自分自身を語る中学生たちに勇気と感動をもらい、引き続き行なわれたコンサートにおいても、参加者それぞれの胸に人権の大切さを伝えることができた。但し、旧三間町での開催のため、参加者が三間町に若干偏っており、来年度の開催においては、参加者が全市的なものとなるような工夫が必要。 ○事業名：「人権を考える市民の集い・菜の花コンサート」 あらゆる人権をテーマにしており、年度年度においてどの分野を重点的に取り上げるかで内容は変わってくる。当該年度は障害者問題を重点的に行う事で事業を実施した。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3
平成21年度予定								
事業名：「人権を考える市民の集い・菜の花コンサート」 昨年度までの企画は、傾向として同和問題を中心としたものが多かったが、今年度は旧津島町で開催するに当たり、授産施設である「グリーン工房」で毎年開催しているフリーマーケットとの合同開催を予定し、障害者の人権問題の提起と啓発を図り、さらにはその他のあらゆる人権問題を考える契機として展開しようとするものである。								予算額
								1,135千円
								目標値
								2回

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[3] 学習活動への参加促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
学習活動参加促進事業(生涯学習センター・地区公民館)	生涯学習課							
事業の概要								
いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができ、ますます高度化、多様化、専門化する学習ニーズに効果的に応えられるよう、生涯学習センターや公民館をはじめとする生涯学習関連施設を中心に多様な学級・講座や各種事業を開催し、市民に学習の場を提供する。								
平成20年度実績								
【地区公民館】 ※1回あたり参加者:10人～25人 1. 学級講座 ①家庭教育講座64回 ②人権・同和教育講座34回 ③婦人学級37回 ④高齢者学級61回 ⑤成人学級3回 ⑥公民館講座138回 ⑦その他22回 2. 各種主催共催事業 【生涯学習センター】 1. 第16回生涯学習うわじまフェスティバル事業 ①宇和島イギリス音楽祭215人 ②爆笑!若葉寄席'08宇和島公演368人 ③市民大学4回199人 ④第6回宇和島名作劇場219人 ⑤青少年人材育成事業2回169人 ⑥第11回宇和島文学歴史講座557人 ⑦伊藤大輔生誕110周年記念映画祭250人 ⑧松山大学公開講座100人 ⑨キャリア教育研修会48人 2. 学級講座 ①ミニチュア牛鬼作り講座14回203人 ②創作ガラス講座3回16人 ③光る泥だんご作り講座2回43人 ④アロマテラピー講座2回24人 ⑤布で作るお正月飾り講座3回63人 ⑥ちりめんで作るひな飾り講座3回45人 ⑦パソコン講座27回291人								決算額
								24,374千円
								実績値
								—
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
各種学級講座及び事業は、男女の別や年齢に関わらずできるだけ多くの人が学べるように、土・日や日中、夜間等に分散して開催しており、内容もできるだけ住民の学習ニーズに応えられるよう工夫している。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成21年度予定								
【地区公民館】 ※1回あたり参加者:10人～25人 1. 学級講座 ①家庭教育講座65回 ②人権・同和教育講座42回 ③婦人学級43回 ④高齢者学級53回 ⑤成人学級24回 ⑥公民館講座121回 ⑦その他15回 2. 各種共催事業 【生涯学習センター】 1. 第17回生涯学習うわじまフェスティバル事業 ①市民大学3回 ②第7回宇和島名作劇場 ③青少年人材育成事業 ④第12回宇和島文学歴史講座4回 ⑤イギリス音楽祭 2. 学級講座 ①ミニチュア牛鬼作り講座10回 ②光る泥だんご作り講座2回 ③アロマテラピー講座3回 ④布で作る季節の飾り講座6回 ⑤パソコン講座30回								予算額
								26,156千円
								目標値
								—

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[4] メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規	●	
男女共同参画広報啓発事業	企画情報課 [総務]							
事業の概要								
男女共同参画に関する理解を広めるため、国の取組みや宇和島市で策定した「男女共同参画基本計画」に基づく施策などを広報紙により周知するほか、市民を対象とした講演会やイベントを開催して意識啓発を図ろうとするものである。平成20年度からは、市及び教育委員会主催、PTA連合会・女性団体連絡協議会等団体との共催により、国の男女共同参画推進本部が実施する「男女共同参画週間」に合わせて、「男女共同参画推進大会」を開催している。								
平成20年度実績								
【男女共同参画推進大会】 日時：平成20年7月6日(日) 10:00～15:00 場所：南予文化会館 内容：映画(DVD)上映(タイトル:「幸せのレシピ」)、基調講演(講師:フジテレビアナウンサー 笠井信輔氏、演題:「息子3人 アナウンサー・記者夫婦奮闘物語」)、男女共同参画社会作品コンクール表彰式、各種相談(育児・高齢者・健康相談)、加工品等即売会(生活研究協議会、企業組合あこやひめ) 来場者：約600人 【男女共同参画講演会】 ※職員研修を兼ねる 日時：平成21年3月13日(金) 14:30～16:30 会場：宇和島市総合福祉センター 講師：橘木 俊詔 氏 (同志社大学経済学部教授・元日本経済学会会長) 演題：これからの労働・結婚・子育て ～経済学から解く男女共同参画社会～ 来場者：約100人						決算額		
						1,063千円		
						実績値		
						—		
						進捗状況		
						4		
事業に対する評価・課題等								
○「男女共同参画推進大会」においては、身近なテーマに視点を置いた講演や映画上映などを行うことにより、実生活と男女共同参画との関わりについて意識が深められたと思われる。また、家族や地域の人たち に対する感謝の気持ちを込めた手紙等の作品コンクールを大会に先立って実施し、当日優秀作について表彰・紹介を行った。後日広報にも掲載し、男女が協力して家庭や地域と関わることの大切さを、多くの人が再認識できたのではないかと考える。								
○「男女共同参画」について更に広く、深く理解を得られるよう、実生活に根差した様々なテーマを取り上げ、講演会等を実施するほか啓発を図っていきたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5		
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5		
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4		
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4		
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5		
平成21年度予定								
前年度同様、男女共同参画週間の期間中に大規模な大会「男女共同参画フェスティバル」を実施するほか、12月以降に講演会を数回開催する予定としている。 【男女共同参画フェスティバル】 日時：平成21年6月28日(日) 9:00～16:30 場所：南予文化会館 内容：映画(DVD)上映(タイトル:「Mayuーココロの星ー」)、トークショー(アニマル浜口氏、らくさぶろう氏)、トーク&コンサート(う〜み氏)、男女共同参画社会作品コンクール表彰式、マンモグラフィー検診、各種相談、加工品等即売会(生活研究協議会、企業組合あこやひめ)						予算額		
						2,275千円		
						目標値		
						—		

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[4] メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規	●
ICTメディア・リテラシーの推進	企画情報課 [総務]						
事業の概要							
実施していない。							
平成20年度実績							
							決算額
							実績値
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成21年度予定							
							予算額
							目標値

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[4] メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
生きる力を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	63.6%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
○パソコン操作や視聴覚機器の活用等を性別にこだわらず子どもの個性を伸ばす指導をした。 ○子どもが可能な限り具体的な将来像を描けるようキャリア教育の推進。 ○総合的な学習の時間を中心として課題に応じて必要な情報を収集・判断・表現し受け手へ効果的に発信・伝達する能力の育成を図った。								
平成20年度実績								
○小学校87%、中学校72%。 ○県・市の施策の実践事例を教師研修の資料とし子どもへの情報提供の一助とした。 ○情報の引き出し・選択・処理・発信。 ○読書活動の充実。 ○研究指定校として本事業の教材作成に取り組んだ。								決算額
								—
								実績値
								84%
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○情報の引き出し選択等については授業を通じて身に付けてきているがその情報に偏りが無いかどうか正しいかどうかの見極めはまだできていない。 ○総合的な学習の時間を一層充実させることにより各学年ともに目標を達成することができた。 ○文章を十分読み取る力をつけるための指導を継続して行うことが必要。 ○日ごろの学習活動の中で人の話をしっかり聞き取ったり自分の考えと比較したりする態度の一層の向上を図る。 ○望ましい形での活用の仕方について今後の課題ができた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成21年度予定								
○文章を読んだり趣旨を読み取ったりする力の向上を図る。 ○児童の学習権が損なわれないよう可能な限り活動の場において男女混合名簿を作成。 ○メディア・リテラシー向上のみならず情報モラル教育にも力を入れネットいじめの加害者・被害者にならないようにしていく。 ○情報入手手段としてのメディア等の活用について長所・短所を押さえたメディアカリキュラムを作成。								予算額
								—
								目標値
								100%

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—